

栗原の稲作通信

第3号 令和7年6月27日発行

宮城県栗原農業改良普及センター

宮城県米づくり推進栗原地方本部

電話番号 0228-22-9404

○今後の栽培管理のポイント○

1. 目標茎数を確保したら、中干しを実施する
2. 斑点米カメムシ類の発生を抑制するため、畦畔や水田内の雑草防除を徹底する
3. 定期的には場をまわり、いもち病の早期発見、早期防除に努める

1. 気象経過

○6月上中旬（6/1～6/20）は最高気温が平年と比較してやや高くなり、降水量は平年と比較して少なくなりました。また、この間の合計日照時間は平年を上回りました。

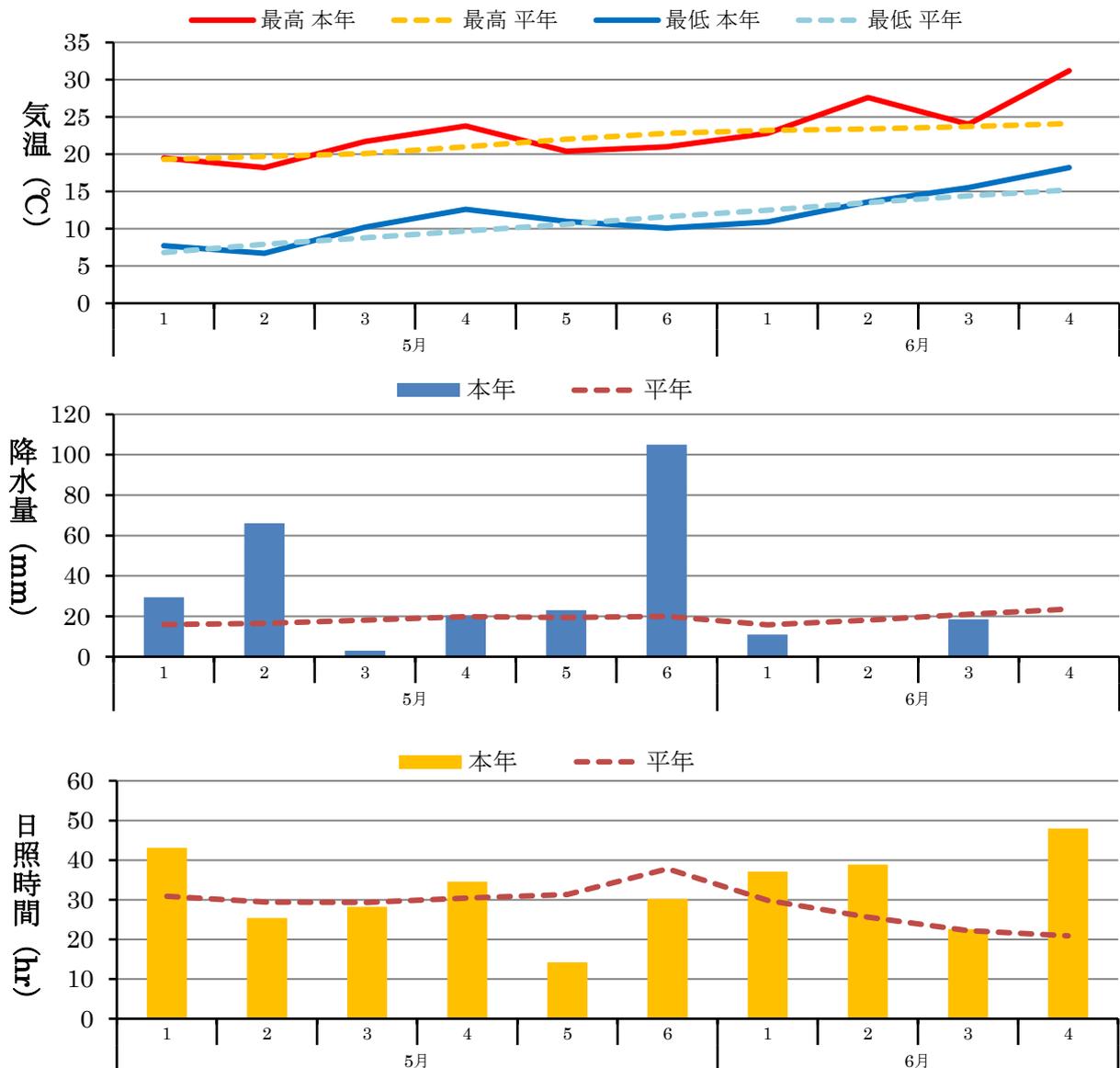


図1 5～6月の気象経過（築館アメダス）

2. 生育状況（6月20日現在）

1) 移植水稻

○県内における「ひとめぼれ」の生育状況（県内 18 地点平均）については、草丈は 35.4cm（平年比 99%）、茎数は 293 本（平年比 81%）、葉色（GM 値）は 40.0（平年差 -3.6）となっており、平年と比べて**草丈は並み、茎数は少なく、葉色は淡くなっています**（表 1「ひとめぼれ 県平均」）。

○管内の「ひとめぼれ」は、若柳では平年と比べて、草丈は並み、茎数は少なく、葉数は並み、葉色は淡くなっています。（表 1「ひとめぼれ 若柳」）。また、一迫では平年と比べて、草丈はやや短く、茎数は少なく、葉数は少なく、葉色は淡くなっています（表 1「ひとめぼれ 一迫」）。

表 1 6月20日 生育調査結果（移植水稻）

品 種	地 区	田 植 日			草 丈 (cm)			茎 数 (本/m ²)			葉 数 (枚)			葉 色 (GM 値)		
		本年	前年差	平年差	本年	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年差 (枚)	平年差 (枚)	本年	前年差	平年差
ひとめぼれ	若柳	5/19	2日早	1日早	36.1	101	103	368	117	84	8.1	-0.4	+0.0	40.7	-3.9	-4.0
ひとめぼれ	一迫	5/13	3日遅	2日遅	34.6	94	95	217	76	76	7.3	-1.1	-1.3	39.2	-1.7	-3.2
ひとめぼれ	県平均	-	-	-	35.4	97	99	293	97	81	-	-	-	40.0	-2.8	-3.6
ひとめぼれ	古試	5/9	同日	同日	39.7	103	108	539	93	111	8.4	+0.1	+0.2	45.6	+2.6	+1.4
ひとめぼれ	古試	5/20	同日	同日	34.5	116	110	414	126	112	7.2	-0.3	-0.3	43.2	-0.9	-1.2
つや姫	築館	5/28	5日遅	6日遅	33.9	100	97	155	86	84	7.4	+0.0	-0.1	39.8	-4.8	-3.9
つや姫	古試	5/9	同日	同日	41.9	110	115	495	104	105	8.2	+0.2	+0.2	45.6	+1.2	+0.5
にじのきらめき	若柳	5/21	-	-	35.5	-	-	207	-	-	7.8	-	-	39.5	-	-

注 1：平年値は過去 5 年間（令和 2～6 年）の平均値。

注 2：「ひとめぼれ 県平均」は県内各普及センター及び古川農業試験場における 18 地点の生育調査結果の平均。

2) 乾田直播水稻

○生育は順調となっています。令和 5 年の乾田直播ひとめぼれに比べて、草丈は短く、茎数は少なく、葉数は多く、葉色は淡くなっています。

表 2 6月20日 生育調査結果（直播水稻）

播種様式	品 種	地 区	播 種 日		草 丈 (cm)		茎 数 (本/m ²)		葉 数 (枚)		葉 色 (GM 値)	
			本年	R 5 年 差	本年	R 5 年 比 (%)	本年	R 5 年 比 (%)	本年	R 5 年 差 (枚)	本年	R 5 年 差
乾田直播 グレーンドリル 播種	ひとめぼれ	志波姫	3/27	17日早	25.2	82	162	73	7.0	+1.5	38.8	-4.7

注 1：令和 7 年から品種を「ひとめぼれ」に変更。

注 2：R 5 年比は令和 5 年産の「ひとめぼれ」との参考比較。

3. 今後の栽培管理のポイント

1) 目標茎数を確保したら、中干しを実施する

- 中干しを実施することで、無効分げつの発生が抑えられることや、草姿が良くなり光合成能力が高まることで、登熟歩合を高めることができます。
- 茎数が平年より少なく推移しています。ほ場で茎数を数えて、目標茎数の確保を確認してから中干しを行いましょ。

表3 品種別目標茎数の目安

品種	m ² 当たり目標茎数 (本/ m ²)	1株当たり目標茎数(本/株)		
		50株植え	60株植え	70株植え
ひとめぼれ	410～460	27～30	23～25	19～22
ササニシキ	480～510	32～34	26～28	23～24
つや姫	400～440	26～29	22～24	19～21
だて正夢	350～400	—	19～22	17～19
金のいぶき	440～490	29～32	24～27	21～23

※参考値となりますので、中干しの判断はほ場全体の生育状況を見ながら行いましょう。

- 中干しの期間は7～10日間とし、田面に小さな亀裂が入り、軽く足跡がつく程度とします。遅くとも幼穂形成期の前には終了しましょう。
(昨年の管内生育調査ほひとめぼれの幼穂形成期：7月9日)

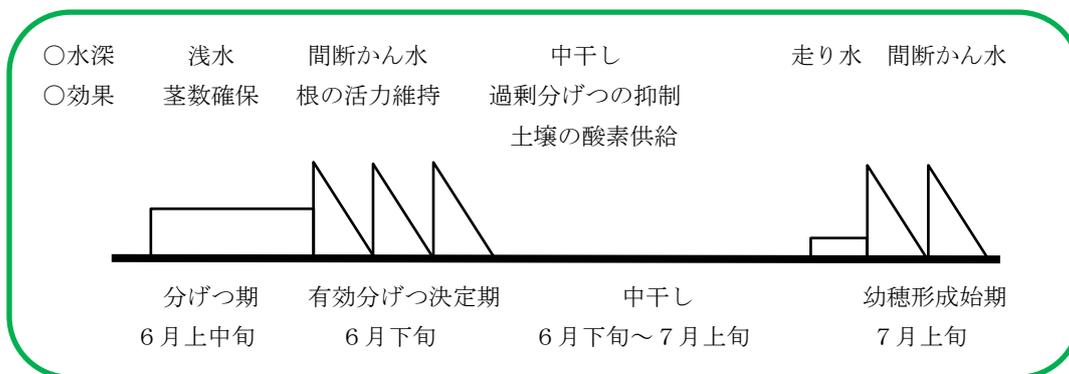


図2 今後の水管理体系

2) 斑点米カメムシ類の発生を抑制するため、畦畔や水田内の雑草防除を徹底する

- 畦畔や農道、雑草地、休耕田等のイネ科雑草は、斑点米カメムシ類の増殖源となります。計画的な草刈りを行い、カメムシ類の増殖を抑えましょう。
- ※管内ではアカスジカスミカメの第一世代の大半は6月中旬までに成虫となり、水田周辺のイネ科雑草に定着するとみられます。
- 水田内のノビエ、イヌホタルイ、シズイなどの繁茂により、斑点米の原因となるアカスジカスミカメが、水田内で増殖して被害が助長されます。残草が目立つ場合は、中期・後期除草剤等により追加防除を実施しましょう。

3) 定期的には場をまわり、いもち病の早期発見、早期防除に努める

- 「BLASTAM（葉いもち感染好適条件の推定システム）」では、6/11 に葉いもち感染好適条件が出現しています。今後の天候の推移に注意しましょう。
「 BLASTAM : <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/byogai/blastam.html> 」
- 「金のいぶき」はいもち病に非常に弱い品種です。箱施用剤に加え水面施用剤による2回防除（6月中下旬及び7月中下旬）を必ず実施しましょう。

＜発生予報第4号6月18日 宮城県病害虫防除所＞
◆葉いもち 発生時期「平年並（7/1～7/5）」 発生量「平年並」
◆コバネイナゴ 発生量「少」

.....
◎お知らせ！

■農薬危害防止運動実施中 実施期間 6月1日～8月31日

農薬の使用に当たっては、必ずラベルに記載された適用病害虫、使用方法、最終有効年限などを確認して、定められた方法を厳守しましょう。

最新の農薬登録情報は、農林水産消費安全技術センターのホームページで確認することができます。

■農作業中の熱中症に注意しましょう!!

夏に向けて、農作業中に熱中症になる人が増えてきます。熱中症死亡事故の約85%が7～8月に発生しています。熱中症は正しい知識を身に付けることで、適切に予防することが可能です。

予防のポイント

✓高温時の作業は避けましょう。

- ・農作業中の熱中症による死亡者数を年代別に見ると70代以上が約9割を占めています。高齢者の方は特に注意が必要となります。

✓単独作業は避けましょう。

- ・なるべく2人以上で作業し、時間を決めて声をかけあったり、異常がないか確認しあうようにしましょう。

✓20分おきに休憩&水分補給を行いましょ。

- ・涼しい日陰などで作業着を脱ぎ、体温を下げましょ。のどがかわいていなくても、20分おきに毎回コップ1～2杯以上を目安に水分補給ましょ。

✓熱中症対策アイテムを活用ましょ。

- ・帽子や吸湿速乾性の衣服を着用することや、空調服や送風機、ウェアラブル端末などを活用し、熱中症リスク回避ましょ。
-